

# 消防団今分団

## 消防団の活動に感謝

御南学区連合町内会  
会長 澤井 博

発行  
岡山市消防団今分団  
〒700-0975  
岡山市北区今4-10-13  
編集責任者 和気 亮

## 消防団ってなに？

消防団とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という郷土愛の精神のもと、地域住民により組織された市町村の消防機関です。

消防団員は、特別職の地方公務員という身分になり、普段は各自の仕事を持ちながらも、災害発生時にはいち早く現場に駆けつけ消火活動等を行っています。緊急時以外にも、訓練・地域行事の警戒等、地域に密着した活動を幅広く行っており、昼夜を問わないこれらの活動に対して、相応の報酬や手当が支給されます。

ただ、消防団員数は、近年の少子高齢化、サラリーマンの増加、地域社会への帰属意識の希薄化等から減少が続いている危機的状況です。

我が分団も例外ではありません。地域のボランティア活動に興味のある方等、我々と一緒にこの住みよい地域を守ってくれる仲間を求めています。

まず、1月1日午後4時10分、能登半島にM7.6の地震が発生し多くの方が被災されました。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。さて、消防団の皆様には、地域における消防防災のリーダーとして、日々住民の安心と安全のために活動して頂き、有り難うございます。ここ数年をみても、火災時の初期消火や残火処理のほかに、H30年7月豪雨時には、笹ヶ瀬川と足守川のはん濫警戒と、内水はん濫下での車両の通行誘導を不眠不休で行うといった災害防衛活動に当たって頂いています。また、平時においても、星空サマーコンサートでの花火打上前の放水作業や学区防災訓練の運営にご協力頂く等、地域における消防防災活動の共助の要として、ご活躍頂いており、感謝に堪えません。その一方で、災害への即応という重責を担う消防団員は、担い手の減少が続く危機的な状況にあるという、地域全体での対応取り組みが必要な課題も明確になっています。自分たちの地域は自分たちの手で守るという信念のもと、消防団と町内会組織の互恵関係を強固にし、地域の防災力向上を図りたいと思っておりますので、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

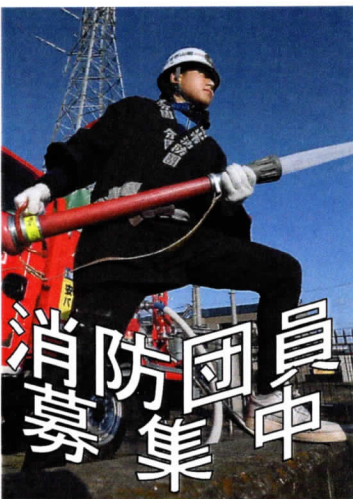
## 消防出初式開催

年始の石川県能登半島を震源とする地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。さて、令和6年1月、消防の仕事始めの儀式である「出初式」が、六番川水の公園体育館において、コロナ禍前の規模に戻り開催されました。式典では、消防局長の式辞、市長の訓示を始め、優良職団員の表彰などが、厳かに執り行われました。



## 優良分団表彰を受ける

また、出初式にて、令和5年度の優良分団として、我が分団が表彰されました。平素の活動や訓練状況、機庫や機械器具の管理状況などが審査されるものです。今後も強い使命感を胸に、団員一一致団結し、消防団活動に精進して参ります。



## ◆入団条件

- ・今分団の管轄区域内に居住する18歳以上の方。男女問いません
- ・志操堅固、身体強健であること
- ・この地域を愛し、この地域の安全・安心を一緒に守ってくれる方

## ◆お問い合わせ先

086-245-0808 (和気まで)

## 住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅火災による死者の大半は、逃げ遅れが原因です。現在は、すべての住宅に設置する義務がありますので、まだのご家庭は必ず設置しましょう。すでに設置されているご家庭は、動作確認をしてください。設置義務化から10年が経過しており、「電池切れ・故障」が増加傾向にあります。

岡山県の住宅用火災警報器の設置率・・・80.2%  
全国の設置率・・・84.3% (令和5年6月1日時点)



石田 忠司 班長  
下中野在住/会社員

普段は会社勤めをしながら、休日を中心に楽しく熱く消防団活動に励んでいます。団員歴7年。



万代 音花 団員  
下中野在住/学生

何か新しいことに挑戦しようと思い入団しました。多くの学生団員の方と活動したいです。団員歴1年。



小若 実 部長  
今六丁目在住/会社員

再入団して22年が経ち60歳を越えました。若い力を求めています。地域のために、共に汗を流そう。

## 私たちも消防団員です